

「広範囲顎骨支持型装置を用いた治療の後ろ向き調査」へのご協力をお願い

東京歯科大学市川総合病院の倫理審査委員会が審査を行って承認し、同病院長が実施を許可した下記の研究について、研究の対象者に該当する可能性があって、診療の情報等を研究の目的で利用されることをご希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせをください。なお、ご協力をいただけない場合でも患者さんに不利益は生じません。また、ご協力を頂きましたら謝礼はございません。

研究課題名	広範囲顎骨支持型装置を用いた治療の後ろ向き調査
研究責任者	歯科・口腔外科 准教授 中島 純子
本研究の目的と意義	<p>顎の腫瘍や顎骨骨髓炎、外傷により顎骨の切除を行った方、先天性に多数歯が欠損されている方で、国が規定した条件を満たし、口腔内の状況が適している場合は、歯科用インプラントを用いた治療が保険診療で行われることがあります。この治療方法は「広範囲顎骨支持型装置」と称されます。この治療の対象となる方の顎の骨の量や質、口腔内の粘膜の状況はインプラントにとって、必ずしも良い条件ではないこともあり、インプラントの脱落や口腔機能の回復の程度は患者さんによって異なります。</p> <p>この研究では、患者さんの過去のデータを利用させていただき、広範囲顎骨支持型装置を用いて治療をされた方と、顎骨の切除後にインプラントを利用しない義歯を用いて治療された方の治療後の経過を明らかにしようと考えています。</p>
研究の対象となる方	2012年4月1日から2025年3月31日までの間に、当院の歯科・口腔外科、口腔がんセンターを受診し、顎骨切除、または先天性の多数歯欠損のため、広範囲顎骨支持型装置または義歯の製作を行った方。
研究の方法	<ul style="list-style-type: none">・対象となる方のカルテを拝見します。・年齢、性別、既往歴、生活習慣、顎骨欠損の範囲、再建方法、顎欠損の原因となった疾患に対する治療内容、口腔内の歯の残存状況、咬合力、咀嚼能力、口腔内の湿潤度を調べます。・口のレントゲン、CT画像を分析します。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲顎骨支持型装置を用いた方は、使用したインプラントの種類、本数、その後のインプラントの状況を調べます。 ・ インプラントの脱落やインプラント周囲の骨の吸収量、インプラントのトラブルの発生率を解析し、一般的な義歯の治療を行った方との口腔機能の回復について解析します。
研究を行う期間	この研究が認められてから 2026 年 3 月 31 日までです。
個人情報の取扱い	患者さん個人を特定できるような、診察券番号、氏名、生年月日は削除して、研究用の番号に変えて取扱いを行います（仮名加工情報といいます）。なお、個人を特定できる診察券番号、氏名、生年月日と研究用の番号を照合するための対照表を別に作成しますが、対照表は施錠可能な場所で厳重に保管をします。
研究データの保管	この研究終了後から 5 年間（または、この研究に関する報告を行った日から 5 年間）、パスワードをかけた USB で院内の施錠可能な場所に保管します。その後フォーマットを行い物理的に破壊します。
本研究の資金源	歯科・口腔外科の研究費で行います。
企業などとの関係	この研究に企業や営利団体はかかわっていません。
お問い合わせ先	<p>この研究に協力したくない場合や、研究についてさらにお知りになりたい場合は、下記にご連絡ください。</p> <p style="text-align: center;">東京歯科大学 市川総合病院 歯科・口腔外科 中島純子 電話：047-322-0151（代表）</p>
備考	ご自身の診療の情報等を研究のために利用することを希望されないことをお申し出して頂いた時点で、研究の発表等がなされていた場合は、特定の患者さんの情報を取り除くことができない場合があります。その点については、あらかじめご了承ください。